

【ねがいはしては】

平成28年11月25日

KYOWA SCHOOL

第313号

「意識」

スポーツで良くあると思うのですが、練習ではとても調子が良かったのに、いざ本番となると全く……。 「上がる」という現象なのでしょう。周りの人たちが自分をどのように見ているのか……。失敗したらかわいいな……。

様々な「邪魔者」が心をよぎります。終わってみて、ほとんどの選手が思うこと……。 「意識しすぎ」

私たち大人の世界の日常も全く同じ、例えばファッション、今日はどんな服装で出かけようかな、これは一昨日着たし、この色は連続になっちゃうし……。 で、気にしているのは本人だけであり、周りの人たちにはあまりわかっていないのが現実です。自分ではあまり満足のいった格好ではないけれど、仕方がないか……。 で選んだ服装、歩きながらもキョロキョロ、こんな格好悪いところ見られたくない……。

先日もある中学生が前髪を気にしている様子。自分で切ったとか、絶えず前髪に手を触れています。気になるのですね。しかし周りの子たちは気にしている様子はありません。

さて、ここまでは見栄えのお話。子どもたちは毎日、周りの目を気にしながら生活しています。男の子は、自分の立ち位置、つまり、いじめられなくてよい位置にいるのか、何か「ヘマ」をやらかすと、とたんに飛んでくるいじめに近いヤジ……。 体育の授業などは結構緊張するようです。みんなが見ているし、ここで「ヘマ」すると……。 ビクビク……。 女の子たちは周りの会話に自然と耳が行きます。目の前の子としゃべっているのに、耳は後ろを気にしています。「私の悪口言っていないかな……。 」

最も顕著に表れるのが、テストの返却です。結構多いのが女の子たちの行動……。 テストの点数欄を折って隠す。

これをお読みになっているお母様の中にも、あるあるボタンを何度も押される方が……。

意識がなければ、きっと上手くいくはずなのに、自然に意識が働いてしまう。そんな自分が大嫌い、と置いていらっしやる方は多いのではないのでしょうか。

ある日のことなのですが、体操男子団体に金メダリストの白井健三さんがTVの中で気楽に語っていました。

「失敗の大切さ」ですね……。 いつもの表情で、にこにこしながら語っています。リラックスした雰囲気です。

何回失敗したのだろう。失敗しすぎた表情なんだな。私はそう感じました。幼少の頃から行ってきた体操につき込んだ時間は、彼を「ひと」へと成長させていました。周りの方々からの影響もあると思います。ご両親、兄弟、コーチ、友人……。 周りを見れば意識する方々ばかりの中で、「失敗の大切さ」をいとも簡単に言っている……。

子ども達に持って戴きたいこと、「意識」はいらないよ。

ここへやってくる子ども達のなかで、意識が邪魔をし、身動きが出来なくなってしまった子たちが多くいます。

「自分のバカさ加減がバレたらどうしよう。」きっと普段の生活でその部分をつつかれ、深く傷ついた経験があるのかもしれない。また、幼少の頃から、周りを意識する「クセ」が身についてしまっており、いつも心ががちがちになってしまっている。だから、今、自分がやっている勉強も「真っ白」になってしまっている。思春期を迎え、心が発達すると、ますますその兆候は大きくなるのかもしれない。

小学校1年生の元気な子がいます。周りを意識することが全くありません。目の前の問題が楽しくてたまらない様子です。問題が時間内に終わらないと、自ら「のこり、おうちでやっていますか。」なんと、自分で宿題を作っています。笑顔も満点です。私はこれが本物の宿題だと思っています。続きの勉強を家でもやってみよう……。

もう一人の小学校1年生がいます。学校から出された宿題を渋っています。意識が影響しているようです。しかし、徐々にその糸は切れ始めます。どんなに易しい問題であっても、誰も何も口出ししない雰囲気があるとわかってくると、結構な勢いで取り組み始めます。歌いながらえんぴつを走らせます。

夢中になって取り組んでいる姿が100点、バツが出てきても気にしないことが100点。

3年生になる子が、計算に取り組みます。当初行っていた頃よりもかなりなスピードでこなせるようになってきました。ある日とってもすてきな言葉が出てきました。「わたし、たしざんだいすき。」自分は出来るんだと確信を持った瞬間なのでしょう。たとえそれがその場限りであったとしても、その時の「気持ち」が生まれたことが100点。

金子みすゞさんの言葉がよぎります。「みんなちがってみんないい」

もうひとつ、世界にひとつだけの花の歌詞、「世界にひとつだけの花 一人一人ちがう種を持つ その花を咲かせることだけに 一生懸命になればいい」

結構「意識」を前面に出していらっしやるのは、お母様のプライド……。 ごめんなさい。でも、子は苦しんでいます。

子どもにとっての持って生まれた大切な宝物……。 「笑顔」ですよ。

その「笑顔」を奪い取るようなことだけはしたくありません。みんなありがとね。